



て ま り



Technical Educational Mental Artistic & Refreshing Information

『 新しい「個人と組織」 』

放送大学和歌山学習センター 客員教員
和歌山大学観光学部 教授 竹林 浩志

近年、われわれの社会ではダイバーシティ（多様性）の考えが広まっています。私も個人の権利はその個人の性別や人種や考え方などの個々の違いにとらわれない社会を作ろうとすることに関して異論を申し上げるつもりはないのですが、皆さんはそれが広まることについてなにかお考えになっていますでしょうか？我々は生活をするときに、よく集団を作ったり、他の人と行動を共にしたりします。当然ながら個人は他者と考えることも異なるのでやってみたいことも異なります。組織論を考えている者からすれば、他人との関係の構築を前提として組織集団を作るのはなぜか？と問われれば、個人では達成できないことを集団で行うと効果的に達成することができたりするし、その集団だからこそ達成できることを達成したいと考えるからだと考えられます。ただ、当然ながらある個人と他人とは生まれも育ちも異なるので、考え方・意見が違ったり、行動の選択スタイルも異なるんですね。

そうすると、集団を作成することになると、それが企業であろうがサークルであろうと当然ながらある一定の規律・ルールが必要になります。集団だからこそ一つの目的に向かっていくことができるし、そもそも組織を作成する理由が達成することが可能になると思われます。かつての社会では人間そのものに優劣があることや、男性の方が女性よりも偉い、といった考え方などが前提となり社会が構築されていました。その昔の考え方を肯定するわけではありませんが、人間社会の根底にある（影響する）であろう考え方が変化し、それに伴ってその考え方をベースにした社会制度やシステムも変更しなければならなくなります。つまり、日本の社会における様々なルール・仕組みを変更しなければならないのです。簡単に言うと、皆さんご自身が「当たり前」だとお考えになっていることも、いくばくかは変更を余儀なくされる、ということになります。たとえば、私が勤務する大学では、学生さんのお名前を呼ぶときに男性であれ女性であれ「さん」をつけることになっています。このことを否定するつもりではないのですが、運動部で育った私としては、「くん」をつけて呼ぶことの方が自分としてはすっきりするし、なにか若干の違和感を感じます。ただ、「さん」づけでお名前を呼ぶようになってから数年がたち、自身としてもその使い方にだいぶ慣れてきたようにも感じます。使い方に慣れてきたと思うということは、以前より、新しい考え方が当たり前と考えるようになってきているということです。

とりわけ日本人は集団化傾向が強いといわれるので、集団の行動に自身の行動を適合させたりもします。つまり日本にお住いの方々の考え・行動がどのようなものなのか、が大きく関係することになります。そうならば、我々自身が新しい考え方を意識し、尊重しながら行動し、その新しい考え方に基づいた新たな社会・組織を作ることになるんでしょうね。今後どのような社会・組織が構築されるか、私は楽しみではあります。

ご卒業・ご修了おめでとうございます

2024年度第2学期学位記授与式が3月23日（日）和歌山学習センターで行われました。和歌山学習センターでは教養学部24名が卒業、大学院（修士）1名が修了されました。



卒業生・修了生からのメッセージ

《二度目の学位記授与式を迎えて》

教養学部 生活と福祉コース 金原 徹雄 さん

私が放送大学との御縁を得てからはや17年が過ぎ、二度目の学位記授与式に出席することができませんでした。1年間の選科履修生としてのお試し期間を経て、社会と産業コースに10年間、引き続き生活と福祉コースに再入学して6年間、学則上在籍が可能な年限ぎりぎりまで楽しく学ばせていただいたことに感謝しています。

入学当初は50台前半であった齢も今や古希を迎え、それなりの感慨はあるものの、まだまだ学びの場にとどまりたいとの意欲はなくしておらず、4月からは人間と文化コースでお世話になることになりました。今回も、年限いっぱい在籍させていただき、6年後の春に3度目の学位記授与式に出席できることを楽しみに頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

時間の都合上、毎学期受講できる科目数はごく限られると思いますが、これまでの17年間、数々の素晴らしい思い出を与えてくれた面接授業には、可能な限り、毎学期1科目は受講したいと考えています。

和歌山学習センターの皆様には、今後も何かとお世話をおかけすることになると思いますので、何卒よろしくお願い致します。

あと数か月で82歳になる私が好んで使う言葉に「生き急ぎ」があります。あまり相応しくないかも知れませんが、この言葉を好んで使います。

60歳で定年退職し、引き続き外郭団体の役員の傍ら11年間、大学等で教鞭をとり、これも卒業して72歳になって、さて、今日から何をしようかと思案をしていたころ、後輩が放送大学の存在を教えてくれ、これが刺激となって入学以来8年、3つのコースを卒業しました。後輩に大いに感謝です。

生き急ぎと言っても別に慌てているつもりはありませんが、何もしないでぼ～っとしているのはもったいない。生きていうちに悔いのない生活を送りたい(紙面上はこのような表現になりますが実際はもっと暢気なものです)と放送大学の学生に、各種のボランティアに、地域や町の自治会役員に、町の健康づくり委員に、認知症ボランティアになど、来るもの要請されるものは拒まず引き受け、健康に留意しながら務めています。

引き続き放送大学の全科履修生のステータスとして全コースを征服したいなどという魂胆はさらさらありません(不得手なコースもある)が、自然と環境コースを最後としてあとは好きな教科をのんびり学んで行きたいと考えています。

在校生のみなさん。放送大学は包容力のある大学です、気長に、貪欲に、そして何よりも楽しんで学んでください。そしていつもやさしく奉仕の精神を忘れずに！

《学位授与式を終えて》

2020年9月に心理と教育コースへ入学して、本年3月に卒業することができました。初めに放送大学に入学した動機を説明します。私は会社でストレスが上手く発散できずメンタル不調になり、ある心理カウンセラーさんに出会いました。その時、認知行動療法を教えて頂きメンタル不調を起こさなくなっていました。その経験をキッカケに、もっと心理学を学びたいと考え、働きながら本格的に学べる放送大学に入学しました。

入学時に目標を二つ立てました。一つは卒業研究をする。もう一つは臨床心理士資格を取得し心理カウンセラーになることでした。

卒業研究は、定年より1年早く退職して昨年行いました。卒業研究では色々な論文を読みましたが、自分にない色々な考えに接したことで、新しい考え方の自分に出会う経験が出来ました。また自分の考えを論理的に組み立て、上手に人に伝える力を身につけるなど、本当に有意義な時間を過ごせました。

心理カウンセラーについては、在学中の経験から大学院に進学すべきと考え、現在働きながら進学勉強を始め、放送大学の他のコースにも入学しました。放送大学和歌山学習センターの方々には、またお世話になると思いますがよろしくお願い申し上げます。

《複数分野の学びが生む新たな視点》

教養学部 心理と教育コース 松本 貢一 さん

私はこれまで電気や機械の技術者として仕事をしてきましたが、心理学への興味を持ち続けていました。4年半前、放送大学で心理学を体系的に学べることを知り、3年次に編入学しました。また、所定の条件を満たせば認定心理士が取得できることは良い学習目標になりました（取得済）。

入学した時は、どこまでできるのか、卒業まで到達するのか不安もありましたが、放送大学エキスパート「心理学基礎」、「臨床心理学基礎」の取得がモチベーション維持に役立ちました。また、面接授業では心理学実験や心理検査法などが体験できただけでなく、先生や同様の志を持つ学生との交流を通じ、異なる視点や考え方などが得られました。

心理学を勉強するうちに身体や疾病、社会福祉も勉強する必要があると感じ、コース変更して、まず2年前に生活と福祉コースを卒業。今回、最初に入學した心理と教育コースを卒業しました。これらを通じて、独学ではできない、体系的な学習ができました。

以前学んだ工学分野を含め、複数分野を学ぶことで知識がつながり、新たな視点が生まれることを実感しています。現在、社会と産業コースに継続入学したので、引き続き学習を広げ、深めていこうと思います。

教養学部 心理と教育コース 水崎 芳子 さん

私は37歳で看護学校に入学し、40歳で看護師になりました。看護学校では多くのことを学ばせて頂きましたが、看護師になれたから終わりではなく、看護師はずっと学び続けなければならない仕事だということを実感しました。そして、まず目標として看護学士と認定心理士の資格取得を目指したいと考えました。3人の子育て中であること、看護師1年目で仕事を覚えるのも大変なため、大学の勉強時間の確保が難しいことは入学前から想像できて、不安もありました。そんな中、看護学校の先生が相談に乗って下さり背中を押してくれたことや、家族の応援もあり、入学に踏み切ることができました。また、大学卒業や資格取得についてわからないことは、学習センターの方が親切に教えて下さり不安の軽減に繋がりました。そして、放送大学でWEB受験ができるようになり、放送授業は通勤中など時間や場所を問わずに受講することができたため、限られた時間の中でも学び続けることができました。面接授業では、対面授業でしか得られない学びがありました。また、他の学生との交流もあり、学習の励みになりました。放送大学での学びをこれからの看護ケアに活かすとともに、患者さんに信頼される看護師になれるようこれからも学び続けていきたいです。

私は放送大学大学院に所属し、2年間研究を進めてきました。1年目は、先行研究の調査や放送授業を中心に広く学ぶことができました。(県)教育センターに勤務しながら学んでいた私は、主に教育関係の仕事をしている方が所属するゼミで、研究レポートの報告等とおして、自身の研究の方向性を定めていきました。ゼミにはオンラインで参加し、研究担当の先生にもオンラインで指導をいただきました。大学院2年目に小学校に異動となり、管理職としての業務を行いながら研究を進めることになりました。この研究は、学んだ理論と学校現場における実践をつなげることが求められる研究であり、具体的には、自校のミドル世代の先生方へのインタビューと、その先生方の取組に関わりながらデータを収集させていただきました。9月から12月にかけてデータを整理し、修士論文をまとめていきました。この作業は本当に苦しく、収集したデータを根拠に理由付けをし、自身の主張を述べるのが、どんなに難しいことか痛感しました。

東京で行われた修士論文の口頭試問には、初めて対面で参加しました。口頭試問では、厳しい指摘もありましたが、何とか修了することができました。今後も仕事をしながら研究課題を見出し、その課題を追究していこうという意欲はもっています。また、ゼミの参加をとおして、全国に教育に携わりながら研究を続ける仲間ができたことも、私にとっては大きなことです。



和歌山学習センター 今年度の新任客員教員よりご挨拶



◇尾上 利美 和歌山大学教育学部・准教授(英語教育)

この4月から和歌山学習センターで学習相談を担当させていただくことになりました。専門は英語教育で、特に小学校段階での英語教育について研究しています。母語(日本語)を習得した時と異なり、外国語として別の言語(英語)を学習することに難しさを感じることも多いですが、言語を二つ知っているからこそ気づくこと見えることもあるように思います。学習相談では、一人の英語学習者としても「英語学習」について皆さんと一緒に考えたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

2025年度連携公開講座のご案内

和歌山県立図書館との連携公開講座を今年度も開催いたします。「技術とデザインが紡ぐ未来の社会と美」をテーマに11月、12月の土曜日に各1回、和歌山県立図書館を会場として開催予定です。(詳細は「てまり10月号」でお知らせします。)

ご家族、お友達お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。



単位認定試験について

(学部・大学院)

単位認定試験はWeb受験方式で実施します。(一部科目は郵送受験方式)

試験日程 (郵送試験は提出期間)	試験期間は出題形式によって異なります。 Web試験(択一式) 2025年7月16日(水)9時~7月24日(木)17時 Web試験(記述式・併用式) 2025年7月16日(水)9時~7月20日(日)17時 郵送試験(すべての出題形式) 2025年7月16日(水)~7月20日(日)«必着»
Web受験実施方法概要 	①試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験できます。 ②1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能) ③出題形式には「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載されています。 ④制限時間以内に「択一式」は選択肢をクリック、「記述式」は解答記入欄に文字入力することで解答します。
郵送試験を実施する科目について (4科目のみ) 	①「正多面体と素数(21)」、「日本美術史の近代とその外部(18)」、「量子化学(19)」、「行政学講説(24)」のみ郵送試験で実施します。 ②7月上旬ごろに大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて郵送で解答を提出します。 ③試験時間の制限はありません。 提出期間内に解答を作成し、提出してください。
注意事項 	①単位認定試験前までに「Web単位認定試験体験版」を利用し、解答提出までの一通りの操作を、実際に試験で利用する端末で必ず確認しておいてください。 ☆体験版は何度でも解答提出できますが、本番の単位認定試験は1回のみ提出となります。 ②パスワードを忘れてしまった場合など、システムWAKABAにログインできない方は和歌山学習センター(TEL:073-431-0360)までご連絡ください。
大学院科目について	2025年度第1学期より大学院科目の単位認定試験において、Webカメラによる本人確認を実施します。詳細は、2025年4月に本部より送付したメールおよびシステムWAKABAの「学内連絡」にてご確認ください。

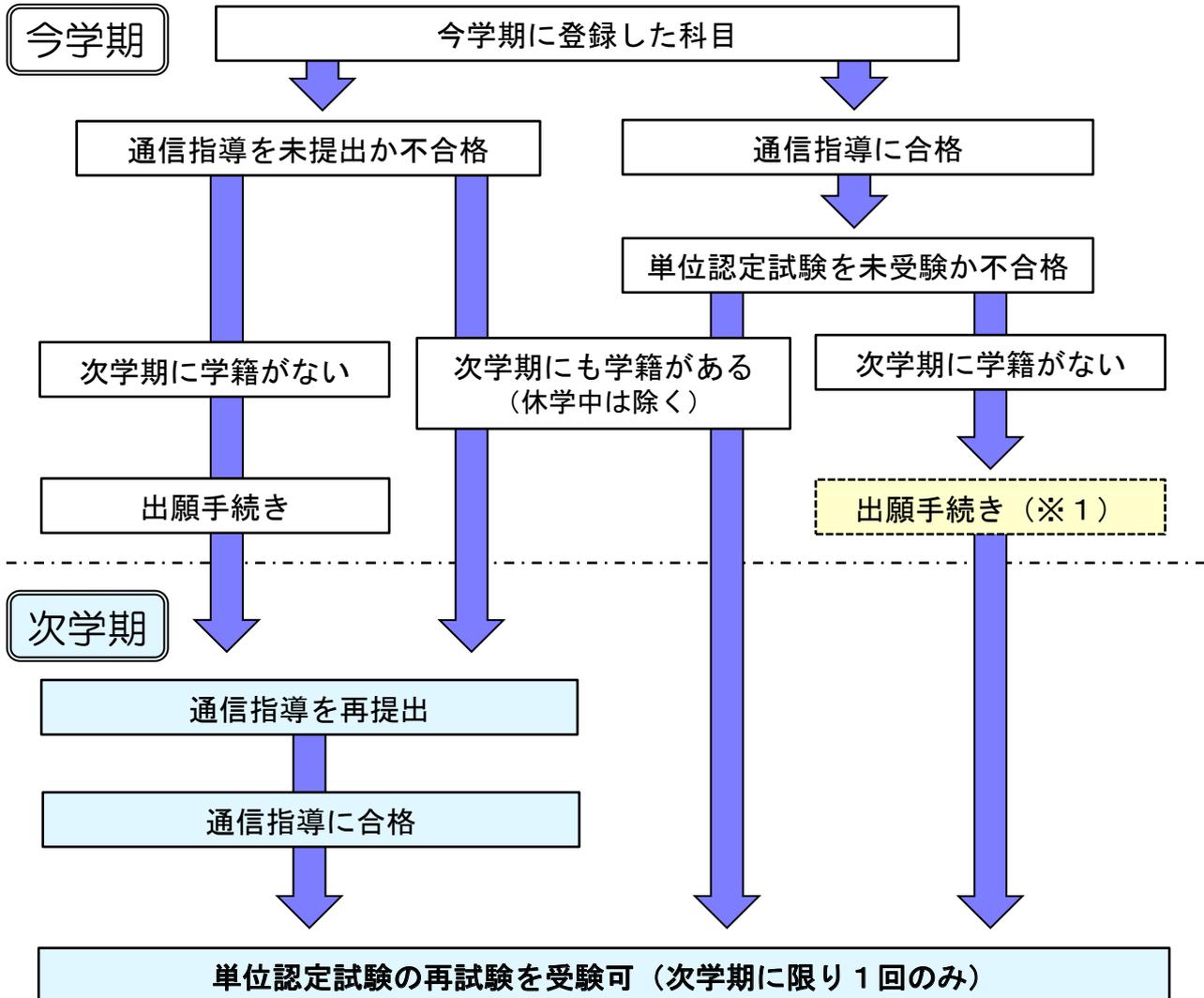
各種発送時期 	①通信指導添削結果の返送：2025年6月末~7月上旬 ☆択一式科目(併用式科目の択一部分)は7月3日(木)までに、記述式科目(併用式科目の記述部分)は7月9日(水)までに届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111)に連絡してください。 ②受験票(単位認定試験通知)：2025年6月下旬 発送予定 ③郵送受験方式の科目のみ 問題用紙・解答用紙・提出用封筒 : 2025年7月上旬 発送予定 ④成績通知書：2025年8月下旬 発送予定 システムWAKABA「教務情報→履修成績照会」で確認することができます。
--	--

再試験について（登録科目の単位を修得する必要がある方へ）

「学生生活の菜」〔学部〕P78～79〔大学院〕P83～84

今学期に新規に登録した放送授業科目の単位を修得できなかった場合、次学期に学籍がある場合（休学中を除く）に限り、再試験を受けることができます。

再試験科目については、あらかじめ科目登録をする必要がなく、授業料もかかりません。



※1 <<単位認定試験を受験した方が再試験のために出願する場合>>

☆新規登録科目なしの場合…試験結果が合格の場合、出願は無効となります。
不合格の場合、入料のみ必要となります。

☆新規登録科目ありの場合…試験結果が合格の場合、新規登録科目のみが登録されます。

★再試験制度は1回のみです。

再試験で不合格の場合は、科目登録（または、再出願）が必要です。

（授業料が必要です。また通信指導も再度提出しなければなりません。）

科目登録申請期間・出願期間中にそれぞれ手続きを行ってください。

★単位認定試験の結果を見てからの科目登録・出願も可能です。ただし、試験結果の送付が申請期限間際となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

2025年度第2学期 科目登録・継続入学等のご案内

科目登録：「学生生活の葉」〔学部〕P61～66〔大学院〕P65～71

継続入学：「学生生活の葉」〔学部〕P95～97〔大学院〕P100

次学期に学籍がある方

「科目登録申請」手続きを行ってください。

科目登録申請には、次の方法があります。いずれかの方法で手続きを行ってください。

①「システムWAKABA」による方法：

インターネット上での申請方法です。申請期間中に科目登録を行ってください。

②「科目登録申請票」による方法：

大学本部から送付される「科目登録申請要項」に添付されています。

必要事項を記入し、申請期間中に大学本部に郵送してください。

★①と②の重複申請はできません。

2025年度第2学期「科目登録申請要項」：7月中旬発送予定

★「放送授業」・「オンライン授業」・「面接授業」の科目登録ができます。

*8月7日(木)までに届かない場合は大学本部(TEL: 043-276-5111)に連絡してください。

【科目登録申請期間】*申請方法により提出期限が異なりますので、ご注意ください。

- ・「システムWAKABA」による申請期間【インターネット】
8月15日(金)9時～8月29日(金)24時
- ・「科目登録申請票」による申請期間【郵送】
8月15日(金)～8月28日(木)本部必着

次学期に学籍がなく、継続して学習を続けたい方

「出願(継続入学)」手続きを行ってください。

出願(継続入学)には次の方法があります。いずれかの方法で手続きを行ってください。

①インターネットによる方法：申請期間中に手続きを行ってください。

◆システムWAKABA上で継続入学申請ができます。

(大学本部から案内が送付されます。)

◆放送大学ウェブサイトのインターネット出願ページから出願できます。

②郵送による方法：必要事項を記入し、期間中に大学本部に郵送してください。

◆「学生募集要項」に添付されている「出願票」で出願できます。

(学習センター等で配布しています。)

※学期満了者向け送付物(本部より)は「継続入学のご案内」プリントのみです。

募集要項が必要な方は学習センターまでお知らせください。

★①と②の重複申請はできません。

2025年度第2学期「学生募集要項」：6月10日(火)配布開始

★継続入学される方で、面接授業の登録申請を行いたい方は、必ず上記の「科目登録申請期間」内に、システムWAKABAを通して出願する必要があります。

【出願期間】

・インターネットによる申請期間

6月10日(火)～9月11日(木)17時まで

・「出願票」等による申請期間【郵送】

6月10日(火)～9月11日(木)本部必着

出願票に写真を未添付の場合、学生証の写真は以前提出された写真となります。
写真を変更したい場合は、出願手続きの際に行ってください。後日『写真票』を郵送されたり、後日システムWAKABAを利用してご自身で差し替えた写真は、次回の学生証更新時に利用されます。
詳しくは和歌山学習センターまでお問い合わせください。



2025年度第2学期 面接授業のご案内

科目登録申請後の追加・変更はできませんので、慎重に科目選択を行ってください。

また、定員を上回る申請があった科目については、抽選による選考を行います。

申請科目すべてが受講できるとは限りませんので、ご注意ください。和歌山学習センターで開設する面接授業科目は下記のとおりです。授業内容等は、「面接授業時間割表[近畿ブロック版]」（大学本部送付）が放送大学ウェブサイトをご覧ください。

科目区分	科目名	担当講師	開設日	定員
導入:情報	地域データの活用	満田 成紀	11月8日(土)・9日(日) ★自家用パソコン持ち込み方式(BYOD)で実施	20
	プログラミング演習Python	辰己 丈夫	12月20日(土)・21日(日) ★自家用パソコン持ち込み方式(BYOD)で実施	20
専門:生活と福祉	身体運動と生活習慣病の予防	宮井 信行	12月6日(土)・7日(日)	30
	こころの健康と精神医学	岩谷 潤	12月13日(土)・14日(日)	20
専門:心理と教育	社会的養護と学校教育	村松 健司	10月18日(土)・19日(日)	30
	心理検査法基礎実習	則定 百合子	10月25日(土)・26日(日)	20
	心理学実験1	村上 凡子	11月1日(土)・2日(日)	30
	心理学実験2	岩原 昭彦	12月13日(土)・14日(日) ★自家用パソコン持ち込み方式(BYOD)で実施	20
専門:社会と産業	日本外交を学ぶ3	白鳥 潤一郎	10月25日(土)・26日(日)	24
	持続可能な鉄道を考える	西川 一弘	11月29日(土)・30日(日) ★2日目の一部は伊太祈曽駅と貴志駅で実施予定	20
専門:人間と文化	世界遺産の庭園	小野 健吉	11月15日(土)・16日(日)	30
	鯨捕り、ジョン万次郎	櫻井 敬人	12月20日(土)・21日(日)	30
専門:情報	AIでデータを一緒に読み解こう	伊原 彰紀	11月15日(土)・16日(日) ★自家用パソコン持ち込み方式(BYOD)で実施	20
	仮想世界の行動設計	山上 俊彦	11月29日(土)・30日(日)	30
専門:自然と環境	シミュレータで太陽系を学ぼう	曾我 真人	12月6日(土)・7日(日)	20
総合	歩く百科事典－南方熊楠	谷脇 幹雄 外4名	10月18日(土)・19日(日) ★2日間とも白浜町南方熊楠記念館で実施予定	20
	ジオパークで考える変動帯地域	此松 昌彦 外1名	1月10日(土)・11日(日)	30

「教科書」指定の有無を前もってシラバス（授業概要）で確認し、各自で書店や出版社から直接購入するなどして、授業当日に必ず持参してください。取り寄せに時間がかかる場合もありますので、ご注意ください。なお、和歌山学習センターでは「教科書」の販売・貸出はしていません。

和歌山の時間割	1時限	10:00～11:30
	2時限	11:40～13:10
	昼休憩	
	3時限	14:00～15:30
	4時限	15:40～17:10

面接授業とは？	●全科履修生が卒業するためには、面接授業かオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。卒業を目指している方以外は、必修ではありません。
	●1科目につき1単位です。
	●2日間で計8回の授業(90分×7回、45分×1回)を行い、原則としてレポートか試験等が課されます。

和歌山学習センター客員教員による 2025年度第1学期学習相談のご案内

客員教員名	専門分野	実施曜日・時間
満田 成紀 和歌山大学戦略情報室・教授	ソフトウェア工学 ※1	毎週 火曜日 10:00~12:00
尾上 利美 和歌山大学教育学部・准教授	英語教育	第2・4 火曜日 10:00~12:00
則定 百合子 和歌山大学教育学部・教授	臨床心理学 青年心理学	第2・4 火曜日 13:00~15:00
竹林 浩志 和歌山大学観光学部・教授	経営学論 組織論	第1・3 水曜日 10:00~12:00
木村 憲喜 和歌山大学大学院教育学研究科・教授	化 学 教育 理 科 教 育	毎週 水曜日 14:00~16:00
原田 利宣 和歌山大学システム工学部・教授	デザイン工学 感性工学 ※1	第1・3 木曜日 10:00~12:00
森下 順子 和歌山信愛大学教育学部・教授	発達心理学 保育・幼児教育 子育て支援	第2・4 木曜日 13:30~15:30
宗森 純 放送大学和歌山学習センター・所長	情報工学	随時(原則として月・火を除く)

※1 ソフトウェア (Word, Excel, PowerPoint)、インターネット、Windowsなどについての質問も可

学習相談とは?

所長および客員教員が学習上の種々の相談に応じています。
相談を希望する学生は、『学習相談票』（和歌山学習センターウェブサイトに掲載ならびに事務室に備え付け）に必要事項を記入し、
相談希望日1週間前までに事務室に申し込んでください。
後日、相談日を通知します。

（※『学習相談票』はFAX送信ならびにメール送信可）

予約制です!



客員教員による『学習会』のご案内

「学習会」とは？

和歌山学習センターの客員教員が、毎回それぞれのテーマに沿って講義をします。

是非、お気軽にご参加ください！

※参加費無料。事前申込み不要。単位認定はありません。



講師	日時	講義内容
満田 成紀 専門： ソフトウェア工学	7月8日(火) 8月5日(火)★・19日(火) 9月2日(火)★・16日(火) 10時00分～12時00分	<p align="center">『パソコン・スマホDojo』</p> <p>パソコンやスマートフォンを使っていて、「もっとこんな使い方がしてみたい」と思うことはありませんか？ そんなあなたに、ちょっとしたアドバイスと一緒にチャレンジする機会を提供するのが「Dojo(道場)」です。 「写真の編集がしたい」「ビデオ通話ってどうやるの？」など、みなさん自身のやってみいたいことや悩みについて、教員がメンター(お助け人)となって取り組みます。すぐにはできないかもしれませんが、ゆっくり少しずつ学んでいきましょう。</p> <p>※自分のノートPCやスマートフォンを持ってきてください。</p> <p>【お知らせ】 ★の日にはパソコン・スマートフォンの活用に関する1時間程度の講義を行います。</p>
則定 百合子 専門： 臨床心理学 青年心理学	7月8日(火) 13時00分～14時30分	<p align="center">『コミュニケーションの心理学』</p> <p>人と人とのコミュニケーションは、私たちの生活において非常に重要な意味をもっています。今回は、人間の思考と行動のタイプから、コミュニケーションの在り方について考えてみたいと思います。</p>
竹林 浩志 専門：経営学 組織論	7月2日(水) 8月6日(水) 9月3日(水) 10時00分～12時00分	<p align="center">『組織における人間を考える』</p> <p>我々は数多くの組織と様々な形で関わりながら生きています。その組織というものと関わることで多くの喜びを手に入れるだけでなく、多くのコンフリクトをかかえたりもします。 では、その「組織」とはそもそもどのようなものなのでしょうか？ その中で活動することとはどのようなことなのでしょうか？ 経営学・組織論・意思決定論などをベースに組織内における人間そのもの、および人間間の諸問題について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。</p>

講師	日時	講義内容
木村 憲喜 専門: 化学 理科教育	7月30日(水) 14時00分～16時00分	『酒の科学』 日本酒は作られた地域や場所によって味が異なります。例えば灘の酒は辛口、伏見の酒は甘口とよく言われます。この違いは日本酒を作る水と関係しています。このメカニズムについて考えてみます。
	原則として 月1回 水曜日 14時00分～16時00分 ※実施日は月毎に掲示をご覧ください。事務室へお問合せください。	『学生自主ゼミナール』 月に1回のペースで行っています。 報告者は、“和歌山学習センター所属の学生”。各回毎に、担当学生がテーマを決めて発表し、互いに学習を深めます。事前の申し込みは不要です。是非お気軽にご参加ください！
森下 順子 専門: 発達心理学 保育・幼児教育 子育て支援	7月10日(木) 13時30分～15時00分	『地域と子育て支援』 我が国は、1989年の合計特殊出生率『1.57ショック』を機に、子育て支援の充実と社会で子どもを育てる環境づくりを目指して36年目になります。2023年には子ども家庭庁が創設され政策強化にも取り組んでいます。以前と比較すると、子育て支援施策は、ずいぶんと充実しました。しかし、なぜ子育てが困難になっている家庭が増え、また結婚・子育てに夢を持ってない若者が増えているのでしょうか？地域や子育ての現状と課題について、一緒に学び、豊かな子どもの育ちのために「私たちができること」について考えてみませんか？

■参加者は放送大学の学生といたします。

■不測の事態発生時には、実施を延期したり取りやめたりする場合があります。その際には、和歌山学習センターウェブサイトに掲載するとともに、和歌山学習センター内に掲示いたします。



システムWAKABAでできること ～特に学期後半に便利な機能をご紹介します～

まもなく、単位認定試験が始まります。その後は、成績発表に次学期の科目登録など、一大イベントが目白押し。システムWAKABAを最大限に活用して、試験を乗り切りスムーズに次学期を迎えましょう。

- ✓ 単位認定試験の過去の問題・解答を見たい! ⇒①
- ✓ 成績評価の結果は... ⇒②
- ✓ 次学期の科目登録・継続入学申請をシステムWAKABAでしたい! ⇒③



キャンパスライフ

授業サポート

教務情報

- ▶ 学生カルテ
 - > 学生カルテ
- ▶ 変更・異動手続
 - > 変更・異動手続
- ▶ 履修成績照会
 - > 履修成績照会 ←②
- ▶ 単位認定試験時間割
 - > 単位認定試験時間割照会 (学生用)
- ▶ 出願・科目登録申請
 - > 科目登録申請 ←③
 - > 継続入学申請 ←③
 - > 出願申請進行状況確認
- ▶ シラバス検索
 - > シラバス参照
- ▶ 自己判定 (シミュレート)
 - > 所属コース変更・カリキュラム移行シミュレーション
- ▶ 資格取得判定
 - > 科目群履修認証制度自己判定
- ▶ 資格取得申請書
 - > 科目群履修認証状申請書出力

①過去の試験問題・解答は学内リンクに!

学内リンク

- ▶ 放送授業
 - > 放送授業のインターネット配信
 - > 印刷教材試し読み
 - > Web通信指導
 - > Web単位認定試験
 - > 過去の単位認定試験問題・解答等 ←①
- ▶ オンライン・面接授業等
 - > オンライン授業
 - > ライブWeb授業
 - > 面接授業 (第1学期) のページ
 - > 面接授業 (第2学期) のページ
- ▶ その他リンク
 - > 放送大学自己学習サイト
 - > 看護師国家試験学習支援ツール
 - > 修士論文閲覧
 - > 放送大学附属図書館

②と③は、教務情報に!
他にも科目選びの参考になる機能や手続きに便利な機能がたくさんあります。いろいろ開いてみてください。



「学生証」について

「学生生活の葉」[学 部] P23～25
[大学院] P34～37

学生証の交付を所属学習センターで行っています。(大学本部からは送付されません。)
学習センターに来所が難しい場合は郵送による学生証の交付も可能です。
詳細は和歌山学習センターウェブサイトの「学生証の交付について」をご確認ください。

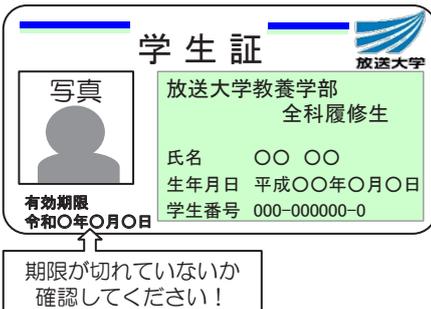
対象者

- ・今学期入学者のうち学生証の受け取りがまだの方
- ・有効期限切れの学生証をお持ちで新しい学生証の受け取りがまだの方

学生証の交付に必要なもの

入学許可書(新規入学者)または期限切れの学生証(在籍者)

【注意】出願・科目登録時に写真票を提出していない方は、①システムWAKABAで直接登録、または②顔写真を
大学本部学生課出願登録係に郵送してください。②の場合、学生証の発行に2～3週間かかります。



- ♥ 学習センター等を利用する場合は、必ず携行してください。
- ♥ 学生証には有効期限があります。

【学部・大学院とも】

全科履修生：2年間 / 選科履修生：1年間 / 科目履修生：半年間

※更新の際は写真の提出は不要です。

- ♥ 学生証の紛失や氏名変更した場合の再発行も、学習センターで行います。
手数料500円を持参し、学習センター事務室で手続きをしてください。

諸証明書・学割証の発行について

「学生生活の葉」[学 部] P101～103、P128～129
[大学院] P102～104、P128～129

各種証明書が必要な場合「諸証明書交付願」を提出してください(手数料は1通につき200円)。
なお、証明書の発行に2週間程度かかるものや、事務処理上発行できない期間がありますので、
必要な方は早めに提出してください。

提出先：和歌山学習センター

郵便での申請方法

来所されない場合は、下記4点を和歌山学習センターまで郵送してください。

- ① 手数料分の郵便定額小為替証書(1通につき200円)
- ② 諸証明書交付願(様式：『学生生活の葉』巻末、
もしくは「システムWAKABA(キャパスライク⇒各種届出・申請様式)」からダウンロード)
- ③ 返信用封筒《宛名明記》(証明書1～2通：長形3号、3通以上：角型2号)
- ④ 返信用切手(証明書1～2通：110円、3通以上：180円)

諸証明書の発行手続き

全科履修生・修士全科生・博士全科生が、面接授業や単位認定試験、卒業研究、研究指導等の
ために通学する場合等に発行します。

和歌山学習センターでは、JRと和歌山電鐵のみ適用でき、

『一般普通回数乗車券(JR・和歌山電鐵)』および

『学生割引普通乗車券(片道区間100km以上・JRのみ)』(2割引)を購入できます。

学割証が必要な方は、事務室備え付けの「学割証発行願」を提出してください。

提出先：和歌山学習センター

郵便での申請方法 ※使用日の10日前までに必着!

来所されない場合は、下記2点を和歌山学習センターまで郵送してください。

- ① 学割証発行願(システムWAKABA(キャパスライク⇒各種届出・申請様式)からダウンロード)
- ② 返信用封筒(長形3号に110円切手貼付・宛名明記)

※ 卒業研究、研究指導およびゼミ出席の場合は、指導教員から指示のあったことを示すもの
(日時や場所がわかる指導教員からのメールの写しなど)も同封(持参)してください。

学割証の発行手続き

2026年度『卒業研究履修の手引』配布中！

2026年度の『卒業研究履修の手引』を学習センターにて配布しています。

ご希望の方は事務室までお越しください。

- お電話くだされば郵送もいたします。
- 来年度に履修を考えている方は、お早めに入手のうえ、申請準備をしてください。
- 指導教員の希望について、所属学習センター所長との面談が必要な場合があります。
なるべく7月中旬までに面談を済ませてください。

卒業研究 履修申請期間：

2025年8月7日（木）9時～8月14日（木）17時

申請は期間中インターネットで行えます。※郵送の場合は同日必着

《注意事項》

- ◆ 履修申請の条件：
2025年4月時点において、
全科履修生として2年以上在学し、62単位以上を修得している者
(休学・停学期間を除く)
※編入学の方・2学期入学の方の条件についてはお問い合わせください。
- ◆ 審査のうえ履修許可を受け、2026年度第1学期から卒業研究の履修が始まります。
 - ◎ 2025年度第2学期末または2026年度第1学期末で在学年限が切れる方は、途切れぬよう継続入学する必要があります。
 - ◎ 履修開始前（2025年度第2学期末まで）に卒業要件を満たしてしまうと、その時点で卒業となり、卒業研究の履修資格を失います。科目選択は慎重に行ってください。
- ◆ 履修期間は1年間です。
※履修中は、2026年度第1学期末で卒業要件を満たした場合でも、卒業とはなりません。
- ◆ 卒業研究の単位はコース科目（自コース）の6単位（放送授業3単位・面接授業3単位）として認定されます。
- ◆ 卒業研究は必修ではありません。



警報発表時等の臨時閉所について(和歌山学習センターの取り扱い)

和歌山学習センターでは、以下の基準により臨時閉所します。

- ・和歌山市に暴風警報、大雪警報、大雨特別警報のいずれかが発表された場合
- ・被災により、学習センター業務が正常に運営できない場合
- ・その他、学生および教職員の危険回避のため、所長判断による臨時閉所を決定した場合

※大雨警報発表による臨時閉所は行いません。

※面接授業および単位認定試験は、取り扱いが異なります。

※閉所する場合や再開所する場合はその都度、和歌山学習センターのウェブサイトやX(旧Twitter)で情報発信しますので、ご確認ください。

警報解除の時刻	閉所の措置	備考
午前7時まで	平常どおり開所します。	図書・視聴学習室、 学生控室も同様です。
正午まで	解除より2時間後に開所します。	
正午以降	終日閉所します。	

7月～9月の和歌山学習センタースケジュール

7月



1	火	
2	水	学習会：竹林先生
3	木	
4	金	
5	土	面接授業 「子ども成育医療学」
6	日	「エンタテインメント情報学」
7	月	閉所日
8	火	学習会：満田先生 学習会：則定先生
9	水	
10	木	学習会：森下先生 2026年度大学院出願資格事前審査 申請受付締切 (修士全科・博士全科)
11	金	
12	土	面接授業 「心理検査法基礎実習」
13	日	「ゲームシステムデザイン入門」
14	月	閉所日
15	火	
16	水	単位認定試験
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	単位認定試験 記述式・併用式科目 17時まで 郵送試験 必着
21	月	閉所日(海の日)
22	火	
23	水	
24	木	単位認定試験 択一式科目 17時まで
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	閉所日
29	火	
30	水	学習会：木村先生
31	木	

8月

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	閉所日
5	火	学習会：満田先生
6	水	学習会：竹林先生
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	閉所日(山の日)
12	火	閉所日
13	水	閉所日
14	木	閉所日
15	金	閉所日 2026年度大学院出願受付開始 (修士全科・博士全科) —8月25日まで— 2025年度第2学期科目登録申請 受付開始
16	土	閉所日
17	日	閉所日
18	月	閉所日
19	火	学習会：満田先生
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	閉所日 2026年度大学院出願受付締切 (郵送は必着/Webは24:00まで) (修士全科・博士全科)
26	火	
27	水	
28	木	2025年度第2学期科目登録郵送申請 受付締切(必着) 2025年度第2学期科目登録Web申請 受付締切(24時まで)
29	金	2025年度第2学期第1回出願受付締切 (郵送は必着/Webは24:00まで) (学部・修士選科・修士科目)
30	土	2025年度第2学期第2回出願受付開始 (学部・修士選科・修士科目) —9月11日まで—
31	日	

9月



1	月	閉所日
2	火	学習会：満田先生
3	水	学習会：竹林先生
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	閉所日
9	火	
10	水	
11	木	2025年度第2学期第2回出願受付締切 (郵送は必着/Webは17時まで) (学部・修士選科・修士科目)
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	閉所日(敬老の日)
16	火	学習会：満田先生
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	閉所日
23	火	閉所日(秋分の日)
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	2025年度第1学期学位記授与式 2025年度第2学期入学者の集い
29	月	閉所日
30	火	

【閉所日・時間】

火曜～日曜 10:00～18:00

閉所日：月曜・祝休日、

8/11～18、年末年始

放送大学 和歌山学習センター

〒641-0051

和歌山県和歌山市西高松1丁目7-20(和歌山大学松下会館内)

Tel. 073-431-0360 Fax. 073-431-0311

E-mail wakayama-sc@ouj.ac.jp

ウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/wakayama/>

X(旧Twitter) https://x.com/wakayama_sc

※ 和歌山大学(栄谷キャンパス)とは別の場所
ですので、ご注意ください。

